

行動を変える

「意識が行動を変えるのではない。行動が意識を変えるのである」という言葉を、20年以上も前
にある会議で聞いた。何の会議か、誰が言ったのかは覚えていないが、そうなのかなあ、と思い記
憶に残った。

元プロ野球選手の松井秀喜さんの座右の銘は「心が変われば行動が変わる 行動が変われば
習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」である。時の星陵
高校野球部監督の山下智茂さんに贈られた言葉らしい。どちらもキーワードは「行動を変える」で
ある。

私は30歳半ばから学級通信を書くようになった。書き始めた頃は、翌週の予定や連絡、保護者
へのお願い、生徒の日記などで紙面を埋めていた。ある時に一人の生徒のエピソードを書いた。な
ぜそうしたか記憶はないが…。その時に今までとは違い、生徒たちが食い入るように通信を読んで
いる姿を目の当たりにした。それ以来、週に一度発行する学級通信に、生徒の素敵なエピソードを
書くようにした。そう決めたはいいが、今週は何を書こうか、誰のどんな出来事を書こうか、その後
私の頭の中はかなりの部分を学級通信が占めるようになった。それは、生徒のよいところや感心す
るところを探す作業でもあった。今までは、生徒のできないこと、不満足なことばかり見ていた私
が、生徒のよいところを探すようになった。その毎日の繰り返しは、私に生徒のよいところや伸びる
可能性、その子ならではの素敵な現れを見よう、とする意識を持たせるようになった。随分と生徒を
見る意識が変わったと思う。それは、学級通信に、生徒の良さを書くという行動がもたらした意識の
変化であったように思う。

「子どもたちのよいところを見ましょう」というかけ声も大事だが、自分自身の行動を変えてみる
ことも大事だという、私の経験談である。